

ドクタートーク 整形外科 花堂 祥治

H21.10月に赴任しました花堂祥治と申します。 出身は宮崎市で、宮崎西高卒業です。大学は北九州 市の産業医科大学で、卒業後は千葉での研修医の のち、横浜、熊本、北九州、東京、茨城などの病院を 経て、宮崎を離れて25年目にしてUターン就職し、 H18.5月から宮崎大学に勤務しました。

宮崎大学整形外科の関連病院の中でもトップ レベルの実績を誇る橘病院に赴任しまして、大変 充実した日々を送っております。これからもよろし くお願いします。

整形外科医としての専門は脊椎疾患ですが、一般病院勤務が長かったため、整形外科全般にわたっての診断や注射療法などの保存的治療の経験は豊富です。痛みやしびれ感などの相談は遠慮なくお申し付けください。

趣味はゴルフですが、ゴルフ競技にはあまり興味はなく、もっぱらドラコン(ドライバーでどれだけ遠くに飛ばしたかの距離を競う競技)を楽しんでおります。あまり知られていませんが、ドラコンもいくつかの大会があり、2~3分程度の制限時間内に6球打って、計測エリア内に残った距離を競っています。ハンマー投げのゴルフ版と思ってください。全国各地で地区予選会が開催されており、九州でも鹿児島・熊本・福岡・宮崎は毎年大会が行われて



います。ドラコンでは45歳以上がシニアの部、45 歳未満がオープンの部のカテゴリーのため、私は あまりうれしくありませんがシニア選手という ことになります。もっともオープン部門はプロゴ ルファーも参加しますので、風などの条件がいい と400ヤード近く飛ばす選手もいて、カテゴリーを 分けてもらわないと勝負になりません。シニアの 部での全国大会出場にはポイント制のため、複数 回の地区予選優勝が必要です。2007の熊本大会 ではシニア優勝でしたが、他の大会での記録が 悪く全国大会には出場できませんでした。夢は 350Yを超える記録で地区予選を突破し決勝大会 に出場してみたいものですが、大会本番は練習場 と違い、ギャラリーも多くてたいへん緊張しますの でなかなか芯に当たってくれません。やはりゴル フはメンタルが最重要なスポーツだと実感させら れます。もしドラコンに興味のある方がいらっしゃい ましたら、一緒に大会に参加しませんか。

所属長・主任紹介

放射線科 科長 増田 真樹

皆様、こんにちは。放射線科科長として勤務しています、増田真樹と申します。橘病院には診療放射線技師1年生のピチピチ21歳からお世話になっており、はや10年になります。年齢は今年の元旦にとうとう三十路を迎えてしまいました。しかし、気持ちはまだまだ二十代を保っているつもりです。趣味はゴルフです。青空の下、真緑の芝じゅうたんの上、自分



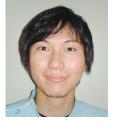
の思い描くショットが打てたときの爽快感はたまりません。それがやみつきになりどっぷりはまっています。 放射線というと皆さん警戒感、倦厭感を示される方が多いと思いますが、しっかりした安全管理の下、利用す

れば患者様にとって、また診断や治療を行う我々スタッフにとっても有用な情報を提供してくれる、とてもとても便利なものなのです。それを現場で実施、実践していくのが診療放射線技師と呼ばれる我々の職業なのです。

現在当院には私を含め4名在籍しております。その力を結集し、できる限り患者様の不安や疑問に答えれるよう研鑽して参りたいと考えています。些細な事でも結構ですので私どもに投げかけてみてください。 それが、今後の私たちの飛躍につながっていくと考えております。今後とも宜しくお願いいたします。

一般病棟主任 柞木 誠

皆さんこんにちは、2階病棟看護師の 作木(ゆすのき)誠といいます。看護学生 の頃から橘病院で働いており今年が11年 目となります。昨年の12月より看護師主 任をさせて頂いておりますが、今までと は責任の重さが変わり、日々気を引き締 めて仕事・看護に取り組んでいます。



ところで見慣れない「ユスノキ」という名字ですが、実際にその名の樹木があるそうで、その木材は日本産有用樹種の中でも最も重くかつ硬く、そろばん玉や櫛(くし)床柱、鴨居(かもい)など様々な用途に使われ、有名なものでは薩摩示現流に使われている木刀もユス材からできているそうです。宮崎の青島神社には大きなユスノキの御神木があるそうなので、一度家族で見に行こうと思っています。

家族は妻と娘(3歳)と今年の5月に産まれた息子との4人で仲良く暮らしています。お風呂の担当くらいの働きしか出来ず、あまり役に立っているのかは分かりませんが、妻と共に子育て奮闘中です。

仕事に家庭に新しい環境となり、 まだまだ慣れないところもありますが、 当院に入院される皆さんが一日も早 く元気になられますよう、師長や主任、 スタッフと力を合わせて快適な職場 環境を目指して頑張ります。



一般病棟主任 加治木 愛

皆さんこんにちは。昨年12月より一般 病棟の主任として仕事をしております加 治木です。主任業務は経験不足で、未知の 世界でもありますが、日々向上心をもち、 師長や他の主任の方々と共に、患者管理・ 看護管理に努力しています。



私は運動が苦手で休日は家で過ごす事

が多かったですが、今年から体力・健康作りのためにウォーキング・Willフィットで運動をしています。何事も継続することが大切、無理せず自分のペースで少しずつ色々な分野の運動に挑戦したいと思います。

私の所属する一般病棟の病床数は50床で、ほぼ満床で稼動しており、手術・入院・救急患者さんを対応する病棟です。患者さんが1日でも早く社会や家庭に復帰できるように、温かい看護を行っております。

私達は看護理念に

「患者個人が納得・安心・満足していただける看護を提供します。

- ①患者個人の尊厳を守り、患者自身が治療·看護に参加できる ように支援します
- ②患者に安心していただけるように専門職としての知識·技術·人格を磨き看護を提供します
- ③チーム医療の中で他職種と協働し展開します」

をかかげており、これからスタッフ全員が一つの目標に向かって力を合わせて行くために、私も微力ながら自分の立場でスタッフの指導に力を注ぎ、皆と供に頑張っていきたいと思いますので、これからもよろしくお願いします。

3階病棟紹介

皆様こんにちは!! 3階病棟について紹介いたします。 3階病棟は病床数42床の療養病棟で、回復期リハビリ テーション病棟となっております。手術後の患者様が ADL(日常生活活動)能力の向上による寝たきり防止と、 家庭・社会復帰を目的とした集中的なリハビリテーショ ンを受ける事が出来る病棟です。ご自宅での生活をイメ ージして、起きてから寝るまでの1日の流れ(食事・整容・



更衣・排泄・入浴・移動)の全ての動作をリハビリテーションの一環と考え実践的な訓練を行っています。

医師・看護師・理学療法士・作業療法士・栄養士等が共同で、患者様一人一人の目標に向けてのお手伝いをし ております。廊下は歩行練習なども出来るように広くなっており、病棟リハビリ室では理学療法士・作業療法 士によるレクリエーション等もあり、患者様も和気あいあいと楽しみながらリハビリを行い機能向上に向か っておられます。

私たちは患者様の過ごしやすい環境作りを目指し、患者様の立場にたった看護が出来るよう目標を持ち日 々頑張っています。一般病棟と比べると少しだけ年齢の高い看護師が多いですが、その分世間話を交えたり して笑いの絶えない病棟です。

早く退院したいと頑張っておられる方の姿や、退院を迎えられた患者様の笑顔に支えられ日々頑張ってい ます。この病院へ来て良かったと思って頂けるよう、これからも頑張って行きたいと思います。



管理栄養士 山下 みさ子

☆ハヤシライスの主役は牛肉!!

牛肉に含まれる主な栄養素は、たんぱく質、脂質を筆頭に 鉄や亜鉛をはじめとするミネラルも豊富。貧血、疲労回復、 虚弱体質改善にも効果抜群!ビタミンCを多く含む緑黄色 野菜や果物を一緒に摂れば鉄の吸収率はさらにアップ。ま た、亜鉛は傷の回復促進に有効。

●ハヤシライス

栄養価(常食2)

●カラフルサラダ

エネルギー 615 kcal たんぱく質 21.4g ●果物(キウイ)

●きになる

17.4g 炭水化物 92.0g

野菜ジュース

3.9g

安心・安全・喜びと信頼される食事提供を常に心がけ、しつ かり食べて頂いて、リハビリ意欲アップに繋がる献立作り に今も直取り組んでいます。献立自慢、次回をお楽しみに!!







『身長が1cm余り伸びました!』

内之浦 由子



長く住み慣れた関東を思い切って離れ、 見ず知らずの都城で暮し始めて現在五年。 家は、橘病院の近くで、そこに柏木先生がいて 下さったのは本当に嬉しくラッキーな偶然 でした。

実は、転居の二年位前から階段で膝がカクッ と折れたり、車から降りた時、変にゆっくりし か歩けなかったりして股関節が心配になって いました。引越し前に検査を受けたら、骨は正常 とのこと。都城へ来てからもそれを信じて体 操やマッサージで痛みを凌いでいるうち次第 に悪化。平成二十年の秋に柏木先生に診て頂 きました。診断は「両脚とも充分に悪い。」と言 われました。一晩考えて手術を決心した後は、 安心して先生におまかせする気持ちになれま した。自分でも不思議な程、手術への恐怖もな く手術室へ入りました。左も右も順調に済み、 術後の痛みは極く少なく早く歩けるようにな り、リハビリ室のK先生からは、「自分の診た 患者さんの中で、一番予後の良い人」と嬉しい お言葉でした。

そしてオマケの喜びは、脚が長くなったこと(この年で)。柏木先生に感謝です。

『痛み取れ歩ける幸せ』

中島 君枝

二十五年勤めた特養の退職後から、年毎に 両膝の痛み激しくなり、整形外科医院に通院 するもリハビリと貼り薬だけ、歩行も困難で 〇脚になり辛い思いをしていました。 杖使用 となり外出するのも億劫で家に閉じ込む生活 でした。知人が都城に手術に行くと話を聞き、 見舞いを兼ねて診察して頂きました。先生 より「寝たきりになりどうして放っておいた のですか。」と聞かれて、心配もありましたが 先生の顔を見て、この先生なら信頼できる、任 せられると思い手術に踏み切りました。術後 は辛い思いもしましたが、スタッフの方や仲 間の励ましに両膝の手術に二ヶ月半入院し 無事退院しました。家の玄関まで杖歩行して 中に入った途端涙が出ました。「只今」の一言 でした。中に入ると、手すりが至る所に不便の ないよう取り付けてあり家族の想いが嬉し く、また歩けることの幸せ術に対応して下 さった柏木先生に感謝の一言です。

一年目の今年四月一日から包括支援センターよりリハビリの声かけがあり参加します。 これから無理せず楽しみ乍ら人の輪に入り 一日一日を大事にしていきます。今後は定期 検査に病院で経過報告をしたり、助言を聞く のが楽しみです。



避難訓練

平成22年4月24日 防災設備業者の指導の下、避難訓練を実施しました。

今回は消火器、消火栓の使用方法に加え、緩降機を使用した非難方法の実施や布団や担架を使用した患者搬送の実演を行いました。器具をはじめて使用する職員もおり、よい体験をする事が出来ました。また、病院全体の避難設備についての勉強会も行われ、充実した避難訓練になりました。日頃から職員全体で防災の意識を高め、急な災害時にでも落ち着いて対応していけるよう心掛けていきます。







一般病棟の入院医療費の計算方法が変わりました。

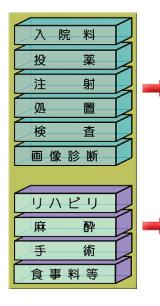
当院は平成22年4月1日よりDPC対象病院となり、一般病棟の入院診療費算定方式が『診断群分類別包括評価』による包括支払いへ変わりました。

DPC (Diagnosis Procedure Combination) 包括評価方式とは

従来の入院会計は「出来高算定方式」で、お薬・注射・ 検査など実施した項目を積み上げて医療費を計算す る方法でした。これに対して「包括評価方式」とは、患 者様の疾病や症状と手術・処置などの診療行為の有無 に応じ、厚生労働省の定められた『診療群分類点数』に より1日あたりの定額を基本に医療費を計算する方法 です。

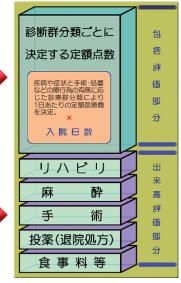
今までの計算方法

診療行為の積み上げ額



DPCによる計算方法

1日あたりの定額×入院日数 + 出来高評価部分の積み上げ額



患者の権利と義務

患者さまには「ご自身が生命の主人公」として、以下の「守られている事」「守っていただきたい事」があります。



1.受療権

いつでも必要なかつ十分な医療サービスを受ける為、医療機関を選択する権利があります。



Ⅱ. 決定権

十分な情報や説明を受け、理解した上で、提案された診療計画などを 自らの意思で決める権利があります。しかしそれらの内容に関する 指示を守る義務があります。



Ⅲ. 知る権利

病名、症状、診療計画、検査・手術、薬について、及び必要な費用など納得できるまで説明を受ける権利があります。と同時に私たちに事実を伝える義務があります。



Ⅳ. プライバシーに関する権利

個人の秘密や医療に関する個人情報が守られ、私的な事にみだりに干渉 されない権利があります。



V. 参加する権利

医療内容や病院の運営につき苦情や意見を述べ、医療改善の活動に 参加する権利があります。



VI. 学習する権利

健康や病気、医学や医療制度、社会福祉について学習する権利があります。

敷地内禁煙

当院は敷地内禁煙としました。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



H22年9月1日より禁煙外来をスタートするために、只今準備中です。

標 語/平成22年

1月

慌てるな 気持ちをしずめて 『深呼吸』

2月

まあいいか その判断が 事故を呼ぶ

3月

おや?ハッ? の気づきから 安全を守ります

4月

初心に返れ! 慣れた手順も 基本から

5月

常に持とう 目配り 気配り 心のゆとり

6月

あわてない まずひと呼吸 みんなで確認心がけ

橘病院の理念(私たちがめざすこと)

当院は「医療の質の向上」を追求し、患者様(家族)と職員・スタッフがともに「心ゆたか」になれる病院を目指します。

患者様の1日も早い社会復帰(家庭、就労、就学など)を願い、地域住民から安心され、信頼され、共感を得られる病院づくりを目指します。

●皆さんから何か疑問に思われることやご質問があれば、 当院の医師、看護師、理学療法士、栄養士、薬剤師、放射線 技師、事務員がお答えいたしますので文書や口頭、メール でかまいません。お寄せください。

(メールアドレス info@tachibana – hospital. jp)

広報委員

新留 ひとみ・中村 みゆき・今村 仙子・山口 博文・能見 恭子・西川 智穂 矢野 多寿子・長 貴子・山田 美都子・山下 みさ子・塩崎 静香・増田 真樹